

会議録

会議の名称	平成31年度(令和元年度)第4回福津市郷づくり推進協議会代表者会議
開催日時	令和元年12月16日(火)15:00~16:20
開催場所	ふくとぴあ1階 健康プラザ
委員	<p>【出席者】</p> <p>勝 浦 : 新海 悦生、荻原 哲夫 津屋崎 : 山脇 清、御厨 忠男 宮 司 : 坂根 康廣、藤山 昇 福 間 : 佐伯 美保、梅谷 寧次 神 興 : 富松 亨一、山西 祐司 上西郷 : 今里 幸和、樽原 純江 神興東 : 奥 弘子 福間南 : 石橋 和義、山本 正則</p>
専任事務局員	<p>【出席者】</p> <p>花田孝信、大神常男、高林万里、廣渡策生、君嶋久美子、水上清香、中里恵子、池田典彦</p>
職員	伊藤会計課長、水上建設課建設係長、竹内建設課建設係員、寺島うみがめ課資源リサイクル係長、石津うみがめ課資源リサイクル係員
事務局	辻郷づくり支援課長、徳永郷づくり支援課郷づくり支援係長、津山郷づくり支援課郷づくり支援係員
会 議	<p>内容</p> <p>1. 部長あいさつ 2. 説明事項 (1) 津屋崎行政センター収納窓口閉鎖のお知らせ (2) 都市計画道路福間駅松原線整備事業に関するお知らせについて (3) 地域分別収集事業について (4) ごみ袋の料金等改定について 3. 意見交換 4. その他</p>
	<p>配付資料</p> <p><input type="checkbox"/> 津屋崎行政センター収納窓口閉鎖のお知らせ <input type="checkbox"/> 都市計画道路福間駅松原線整備事業に関するお知らせ <input type="checkbox"/> 地域分別収集事業について <input type="checkbox"/> ごみ袋の料金等改定について <input type="checkbox"/> 郷づくり別等介護リスク分析市民報告会(ご案内) <input type="checkbox"/> 福津市ボランティアセンター新春コンサート(チラシ) <input type="checkbox"/> 知っておきたいスマホの話(チラシ)</p>

会議内容(要点)

1. 部長あいさつ

地域振興部長は遅れて出席のため、郷づくり支援課長があいさつを述べた。

2. 説明事項

(1) 津屋崎行政センター収納窓口閉鎖のお知らせ

会計課が津屋崎行政センターの収納窓口が閉鎖されることについて説明した。

(会計課)

津屋崎行政センターの収納窓口が令和2年3月31日をもって閉鎖される。閉鎖後の公金収納窓口はセンター近くのセブンイレブン福津津屋崎店、津屋崎郵便局、宗像農協津屋崎支店となる。その他、近くの金融機関でも納付可能である。公式ホームページ、広報紙、口頭でのお知らせ、窓口へのチラシ設置、納付書発送時のチラシ同封により住民へ周知する。

(会長)

広報紙は何月号に掲載されるのか。

(会計課長)

2月1日号に掲載する。

(2) 都市計画道路福間駅松原線整備事業に関するお知らせについて

建設課が都市計画道路福間駅松原線整備事業に関するお知らせについて説明した。

(建設課)

都市計画道路である福間駅松原線において、道路の拡幅、歩道設置、無電柱化といった都市計画街路事業を行う。お知らせ文書を関係自治会に回覧している。工事内容としては福津市が越田橋の長寿命化工事、福岡県が交差点改良工事を予定している。併せて九州電力や宗像地区事務組合も整備を行う。鞍手県道踏切は歩行者・自転車専用の踏切になる予定である。

(委員)

鞍手踏切について、4月までは通行できるか。

(建設課)

施工業者選定の関係で工事は次年度となるため、3月中に通行止めにはしない。

(委員)

福岡県の改良工事について、工事期間中は通行できないのか。

(建設課)

既存の道路を使いながら、どうシフトしていくか県警と協議しており、1月には協議を終える予定である。

(会長)

関係自治会に回覧しているとのことだが、津屋崎方面からの利用者もあるので、全市的に知らせる必要があるのではないか。

(建設課)

全市的に知らせる方向で考えていきたい。

(委員)

越田橋の交差点は小中学生の通学路になっており、安全面において非常に心配している。

(建設課)

この交差点は信号機のつかない交差点になっており、設置については今後も継続して要望していく。現段階では松原橋の交差点が信号機の付くT字路になるため、通学路をそちらのほうに誘導していくことを考えている。

(委員)

地元の商工業者からも強い要望が出ているが、越田橋の交差点は直進車がスピードを出してくると予想され、それに対して信号機がないと、子供たちを守れるのか非常に危機感がある。

(建設課)

信号機を設置するには公安委員会の指定を受けないといけない。要望書は出しているが、松原橋の交差点に誘導するよというの、県警の見解である。

(会長)

越田橋の交差点は横断歩道もないのか。

(建設課)

制限速度や道路の幅からすると、信号機のない横断歩道は設置できないことになっている。

(会長)

福間駅よりの交差点改良工事のところには信号機は設置されるのか。

(建設課)

暫定として付かないようになっている。当初は信号機が設置されると想定していたが、県警の判断としては、状況を見て設置を検討するとの返答である。

(委員)

通学路を松原橋の交差点に誘導するとのことだが、松原橋の手前に横断歩道もない状況であるなら、越田橋の横に歩道をつけたほうが歩行者の安全のために良いのではないのか。

(建設課)

高さ的な問題や、財政的な問題などもあり、市としては、今のところそのような計画は持ち得ていない。宗像署含め県警本部にとっても、踏切や交差点、通学路があり、都市計画道路で幅も広いということで、悩ましい場所であり、非常に迷ったなかで、まずは供用をさせた上で、市と県とで安全対策を強化していくことを考えている。

(会長)

交通量が非常に多く危険であると予想されるので、2箇所の交差点について、信号機の設置に向けて努力をしていただきたい。

(3) 地域分別収集事業について

うみがめ課が地域分別収集事業について説明した。

(うみがめ課)

全地域において分別収集のアンケートを実施した結果、高齢化による地域分別収集の担い手不足、高齢化によるごみ出し困難者への対応、自治会未加入者への対応の3点を課題として捉えた。今後の方向性としては、地域分別収集は継続し、高齢化の課題に対応するための案を取

りまとめた上で、その案をモデル地区という形で一部地域に導入する。その結果を踏まえ、順次その他の地域に広げていきたい。

(委員)

取りまとめた案について、決まったものを報告するのではなく、決める前に相談してほしい。

(うみがめ課)

具体的な案がまとまれば、モニタリングの地域など経過も含め事前に説明する。

(委員)

それぞれの地域性がいろいろある中で、モデル地区はどのような基準で設定するのか。モデル地区が自分たちの地域に合わない場合、その結果を生かすことができるのか。

(うみがめ課)

郷づくり単位やそれに近いところで地区を設定したい。地域性もある程度考慮できると考えている。

(委員)

高齢化や自治会未加入など、それぞれの地域で抱えている問題は違うため、モデル地区の選定は、いくつかのパターンを設定してほしい。

(うみがめ課)

出来るだけ地域性など考慮する。

(郷づくり支援課長)

補足の説明だが、市の方針として、地域の分別収集事業は今後も継続していく。ただし、直ぐには解決できない課題が明らかにあるため、そのための方策を、モデル地区を設定して行う予定である。それぞれの自治会で地域性もあるため、各郷づくり協議会のなかでも、課題解決等、検討してほしい。未加入者の対応については新年度に自治会長に受け入れをお願いしていく予定である。今後も協力いただく事案であるため、その都度報告させていただき、ご意見も伺いたい。

(4) ごみ袋の料金等改定について

うみがめ課がごみ袋の料金等改定について説明した。

(うみがめ課)

令和2年7月1日に家庭用指定ごみ袋の価格の改定と容積の改正を行い、ごみの減量化と資源化を促したい。併せて袋の色やデザインの変更も考えており、現行のごみ袋と新しいごみ袋の併用期間を3か月とする。広報や環境揭示版、ホームページ、各商店のPOP、ポスター等で周知していく。

(委員)

価格改定前の買い占めへの対応について考えているか。

(うみがめ課)

在庫が無くならないよう増産して対応する。

(委員)

ごみ袋を工夫することでごみの減量化を図るのも一つの策であるが、宗像市は公設の分別ス

テーションを平日でも頻繁に開設して、非常に利用しやすいように見受けられる。並行して分別ステーションを福間側に増設することでもごみの減量に繋がるのではないかと。また、多くのごみ袋の在庫を抱えている事業所もあると思われるので、併用期間が3か月は短いように感じる。

(うみがめ課)

住民向けには、余ったごみ袋について、何らかの方策を検討することになっている。

(会長)

ごみ袋がカラスなどに荒らされているところを見かけるが、色の検討は、そのような点も考慮しているのか。

(うみがめ課)

特別な加工をすれば効く可能性があるとのことだが、そのようなごみ袋を制作している業者はほとんどない。また、宗像市と古賀市が黄色のごみ袋を使っているため、黄色と現行の緑色以外の色で検討している。

3. 意見交換

(委員)

小中学校の児童生徒数が増加しており、今後もさらに増加する状況の中で、新しい学校の建設が課題になっていると思うが、コミュニティスクールに関連する学校建設や予定地候補、既存の校区の見直しなど、事前に、郷づくりの会議の場に打診して、意見を聞きながら、市全体で考えていくほうが良いのではないかと。この場がいつも決まった後の説明の場になっては意味が無いのではないかと。代表者会議の機能を発揮するためにも、説明を聞くだけの場であってはいけない。まちづくり基本構想の中にも、郷づくりを含め、パートナーシップが大きく謳われているので、その点について強く要望する。

(郷づくり支援課長)

郷づくり代表者会議設置要綱の中では、「代表者会議は、まちづくりに関して市長に提言を行うことができる。」また、「市長は、まちづくりに関して、代表者会議に意見を求めることができる。」とあるので、大切なところは、この場、或いは事務局員会議を通して、意見を求めるということを検討する。

(委員)

11月9日に行われた福津市一斉防災訓練について、各自治会から市に避難者数等についての数字が出ていると思うが、それに対して市はどう受け止めて分析しているのか。

(郷づくり支援課長)

防災安全課での取りまとめが終わった後、結果と併せて市の見解も報告するよう担当課に伝える。

(委員)

自治会員と非自治会員をこの数字がどのように表しているのかも含めて説明してほしい。また、情報として、イオンや水光会病院が市とどういった形で提携しているのか、中身はどうなっているのかなど、教えてほしい。

(会長)

宗像市が、宗像医師会病院、水光会病院と提携しており、福津市も10月に提携したと聞いている。災害時のことであるため、提携したのであれば、どのような内容か説明しておくべきではないかと。肝心なものがあまり伝わっていない時がある。市役所の中で、何らかの対策を検討

してほしい。

5. その他

(事務局)

配布資料説明

- ・ 郷づくり別等介護リスク分析市民報告会の案内
- ・ 福津市ボランティアセンター新春コンサートの案内
- ・ 知っておきたいスマホの話の案内